

令和3年度環境省行政事業レビュー外部有識者会合

議事概要

1. 日 時：令和3年5月25日（火）14：00～16：00
2. 開催方法：対面及びWEB会議システムの併用
3. 有識者：

環境省選定外部有識者

いながき たかし
稲垣 隆司 岐阜薬科大学名誉教授

おく まみ
奥 真美 東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授

こばやし たつお
小林 辰男 公益社団法人日本経済研究センター研究本部政策研究室長

せき まさお
関 正雄 明治大学経営学部 特任教授
損害保険ジャパン株式会社サステナビリティ推進部シニアアドバイザー

にいみ いくふみ
新美 育文 明治大学名誉教授

内閣官房行政改革推進本部事務局選定外部有識者

おおた やすひろ
太田 康広 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

かねこ りょうた
金子 良太 國學院大學経済学部教授・公認会計士

たきがわ てつや
瀧川 哲也 ポストンコンサルティンググループマネージング・ディレクター&パートナー

4. 議事次第：

- (1) 開会
- (2) 外部有識者紹介
- (3) 令和3年度行政事業レビュー公開プロセス対象事業の選定について
- (4) その他
- (5) 閉会

5. 議事概要：

○事務局より公開プロセス対象候補事業として、以下の6事業を提示。

- ・温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業
- ・アスベスト飛散防止総合対策費
- ・小型家電リサイクル推進事業費
- ・国立公園満喫プロジェクト推進事業
- ・化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行経費
- ・「国連ESDの10年」後の環境教育推進費

○外部有識者からの主なコメント

■温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業

- ・予算規模が大きく、新たな開発のため検討余地が大きい。
- ・今後の展望をどのように描くのかについても議論をしておく必要がある。
- ・目的や必要性、手段等について議論すべき。

■アスベスト飛散防止総合対策費

- ・アスベスト対策がピークアウトするまでしばらく時間がかかる見込みであり重要。
- ・国民の健康に直接関わるので、必要性が高い政策である。

■小型家電リサイクル推進事業費

- ・スマホの爆発的な普及もあり、回収計画のレビューが必要ではないか。
- ・より効果的な政策にできないか検討すべき。

■国立公園満喫プロジェクト推進事業

- ・国立公園は集客力が強く、売り上げで事業が成り立つのではないか。
- ・コロナの影響もあり、これまで以上に事業の重要性が高まっている。
- ・コロナ感染の拡大で訪日外国人客の需要がしばらく見込めない中で、足元の事業を見直す必要があるのではないか。
- ・コロナを機に他省庁とのデマケも含めて内容を考え直すべき。

■化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行経費

- ・運用の見直し及び改善を行いつつ、政策の継続性を確保することが重要である。

■「国連 ESD の 10 年」後の環境教育推進費

- ・カーボンニュートラルやサステナブルな社会形成のために重要な事業である。
- ・成果指標及び活動指標は設定されているものの、具体的な成果が見えにくく、把握しにくい。
- ・ネットワークが効果的に機能しているといえるのか、いかなる課題に直面しているのかを確認したい。

○とりまとめ

外部有識者による投票の結果、「温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業」4票、「アスベスト飛散防止総合対策費」3票、「小型家電リサイクル推進事業費」2票、「国立公園満喫プロジェクト推進事業」7票、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律施行経費」1票、「国連 ESD の 10 年」後の環境教育推進費」4票であった。

投票数の多かった「温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業」、「国立公園満喫プロジェクト推進事業」及び「国連 ESD の 10 年」後の環境教育推進費」の3事業を公開プロセスの対象事業とした。

※外部有識者1名は、公開プロセス対象候補事業における委員会の委員であったため、投票を行わなかった。